

## サセックス・ダウンズメン協会 (The Society of Sussex Downsmen) の活動:1947-1948 (補遺)

坂梨健史郎

### はじめに

イングランド南部に位置するサウス・ダウンズ (the South Downs) は、東はイースト・サセックス州から西はハンプシャー州にまで続く長大な丘陵地帯であり、それはロンドンを含むイングランド南部の多くの人々に今日まで愛されてきた。それは牧草地として機能しただけでなく、人々に散策と眺望の場を与え、その景観はイングランド南部の、時にはイングランド全体の自然のシンボリック的存在となってきた<sup>1</sup>。

そのサウス・ダウンズのサセックス州内での景観保全やそのほか通行権等の保護を主な活動目的とする団体がサセックス・ダウンズメン協会 (The Society of Sussex Downsmen, 以下「SSD」とする) である。この非営利組織は1924年、サセックス在住の文人アーサー・ベケット Arthur Beckett を会長として、サセックス州 およびロンドン在住の名士によって結成された。SSDは今日でも活発な活動を続けているが、本稿は事務局長リリアン・ベイトリーの報告書および理事会議事録を基に、主に1948年春の活動状況について前稿<sup>2</sup>を補遺する形で略述するものである<sup>3</sup>。

1947年4月26日に開催されたSSD第23回年次総会において、新たな会長が選出された。アーヴァイン・ベイトリー大佐が前会長ピーミッシュ海軍大将からの書簡を朗読し、その中で前会長は出席がかなわないことへの強い落胆の情を表明した。ベイトリー大佐はさらに、病気によりSSDがかくも貴重な会長を奪われてしまったことは遺憾に思うと述べた。

1948年4月24日に開催された第24回年次総会において、ヴェン・クレイドン博士はイーストボーン地域内の適切に保護指定された通行権道と馬道を表示した地図が入手可能か否かという問題を提起し、併せてダウンズの一部に立てられた複数の柵の存在に言及した。彼はその柵が通行権法に抵触していないのは確認済みだが「目障り (an eyesore)」であると述べた。

議長は回答し、残念ながら入手可能な通行権道の地図は存在しないが、

東西サセックス州当局は先の戦争前からこの「途方もない (enormous)」作業に取り組んでおり、[戦後]再開されたのも周知だが、現今の無数の問題により進捗は遅々としている。ダウンランドのかなりの部分 (large areas) が食糧生産強化の結果、耕作目的で囲い込まれて (wired) おり、通行権の妨害が立証されない限りは現時点では為す術がないと述べている。

1948年5月21日、翌日のSSD評議会に向けて、SSD事務局の労働量の多さが議題の一つとして報告された。仕事量が膨大であり、様々な案件に関する大量の郵便が日々届くため、限られた時間内で迅速に対処することが極めて不可能である、よって昨年同様、会費、郵便料金、書籍等全般的なルーチン・ワークを処理するための追加の助力を得た、というものであった。

ロンドンで開催された翌日のSSD評議会では、「V」プランテーションが所在するゴート (Gote)・エステートの地主リチャード・ケリー大佐から、来たる [同年夏のロンドン] オリンピックとの関連で提案されている映画プロジェクトに関する書簡の写しが送付されたとの報告があった。2000人の選手が聖火と旗を掲げて「V」プランテーションの中央を行進するという提案であった。ケリー大佐はSSDのコメントを求めていた。

SSDとしては同案件においてSSDの利益に沿うような条件と保証の下で地主の許可が得られているとの感触があったことから、異議は出されなかった。事務局長が上記の線で書簡を送り、併せてケリー大佐には情報提供の好意に対して謝意を表すこととなった。

同評議会ではまた、1942年以降消息が途絶えていたSSD初期の終身会員C・ダラム・ホール (Durham Hall) より、同年以降のSSD報告書を所望する旨の書簡が届いたとの報告があった。[旧英領] マレー半島の警察司令官であったホールは日本軍によって抑留されていたが、現在はイングランドを短期で滞在中とのことであった。

同評議会ではナショナル・トラストへの依頼事項についても報告があった。SSDの一会員から事務局に報告があり、自分は1947年6月にナショナル・トラストに書簡を送り、ニューティンバー・ヒル (Newtimber Hill) の記念ベンチ [memorial seat, 故人を偲ぶ目的で散策道の途中や眺望地点などに設置されるベンチ] の状態について指摘し、いずれ対処するとの確約を貰っているという内容であった。同ベンチは目下のところ未修理で、下敷も刈られていないため、SSDがナショナル・トラストとの通信を引き継いでくれないかという依頼であった。ナショナル・トラストの地元代理

人に書簡を送ることが決定された。

また事務局長より、西サセックス州評議会が「ステニング・ロード (Steyning Road)」の舗装を計画中である旨報告があり、この件に関してはチャントンベリ郡地域評議会に連絡を取ることを提案された。

---

1 Peter Brandon, *The South Downs* (Chichester, 1998), xv.

2 “サセックス・ダウンズメン協会 (The Society of Sussex Downsmen) の活動:1947-1948”, *Contexture*, 埼玉工業大学教養紀要, 36, pp.9-13 (2019)

3 本稿の史料は英国イースト・サセックス州文書館 (East Sussex Record Office) 所蔵の「サセックス・ダウンズメン協会運営委員会議事録 (The Minutes of the Executive Committee of the Society of Sussex Downsmen)」およびそれに添付された書簡や文書である (整理番号ACC 6849)。なお、SSDは現在では「サウス・ダウンズ協会 (South Downs Society)」という名称になっている。